

## 湿地のグリーンウェイブ2022 キャンペーン

# シオマネキの生息地を守ろう！吉野川河口干潟のクリーンアップ

台風1号による大量の漂着ゴミを撤去してシオマネキを救おう！

●日時：2022年5月15日（日）10:00~12:00

少雨決行・雨天の場合は6月12日（日）に延期

●場所：★吉野川河口住吉干潟

（徳島市住吉4・河口南岸グランド東詰）

●持ち物：長靴、厚手の手袋、各自飲み物、よごれてもよい服装  
各自手洗い用の水（ペットボトル等に入れて）

●参加費：★高校生以上参加募集・参加費無料 当日参加大歓迎です。

●主催：とくしま自然観察の会&吉野川ひがたファンクラブ <https://www.shiomaneki.net>  
とくしま釣りの輪 <https://profile.ameba.jp/ameba/tokushima-tsurinowa>

●問合せ：（とくしま自然観察の会）[kansatsunokai@gmail.com](mailto:kansatsunokai@gmail.com)  
（とくしま釣りの輪）[tokushima.tsurinowa@gmail.com](mailto:tokushima.tsurinowa@gmail.com)



## シオマネキを知っていますか？

シオマネキは 環境省のレッドリストにおいて、絶滅危惧Ⅱ類のカニです。

吉野川河口の干潟では、シオマネキやトビハゼなど各地の干潟で姿を消しつつある希少種があたりまえに観察できます。特に住吉干潟は吉野川河口のなかでは、一番のシオマネキの群生地であり、夏には、青い米粒サイズの稚ガニが間近で観察できる貴重な場所です。今、住吉干潟では、4月中旬の台風1号による大量の漂着ゴミが堆積して、干潟やヨシ原を脅かしています。このまま放置すると、腐ったゴミによって富栄養化して干潟はヘドロ化したり、ヨシ原が消失したり、貧酸素によって、シオマネキたちの生息環境は危機的状況になります。干潟のクリーンアップは、大量の堆積ゴミを撤去して、シオマネキや様々な生きものたちの安全な生息場所を守る活動です。

吉野川のシオマネキの生息地を守り、干潟の生物を観察しながら、河口の生物多様性を保全する活動にご参加ください。ひとりでも多くの方のご参加お待ちしております。



集合場所：吉野川河口南岸グランド東詰  
黄色い旗が目印です。  
車や自転車は置けます。